

# 西ノ島町体育協会

## —— これまでのあゆみ

昭和43年から隠岐島前教育委員会に体育指導員が配置されてスポーツ教室が開催されるようになり、西ノ島町体育協会がスタートした。

手探りの中での活動であったが、徐々に日常の健康管理や余暇利用にスポーツが重要視されるようになり、昭和40年代後半には、本町のスポーツ活動が活性化し、日常化されることとなった。

昭和50年代に入ると、これまでスポーツに縁のなかった高齢者や女性の活動も盛んになった。特に平成時代に入る頃には、島根県スポーツ・レクリエーション祭をきっかけに、島前教育委員会と連携し、レクリエーションスポーツの普及に取り組んでいた。

その後、ソフトバレーボールやゲートボール、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフなどが盛んに行われるようになり、平成6年には、本町で全国離島ゲートボール大会や、各種目で県内の交流大会などの会場となった。

このように、町のスポーツ活動の普及振興発展には、隠岐島前教育委員会と西ノ島町体育協会との連携による取り組みが基礎となっている。

## —— 現在の状況

平成7年に隠岐島前教育委員会が解散して以降からは、当協会が中心となり活動を継続している。

現在は、野球、ソフトテニス、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、バドミントン、相撲、硬式テニスの7競技の部が所属している。コロナ禍において多くの大会や活動が中止を余儀なくされたが、令和5年度より感染対策を徹底するなどして、従来から行ってきた大会等を開催し、スポーツを通じた交流促進を再開しているところである。

## —— これから

当協会においては、高齢化及び人口減少に伴うスポーツ人口の減少を危惧しているが、西ノ島町スポーツ推進委員や地域との連携を更に強め、幅広い世代を対象とした多種多様なスポーツ教室等を開催し、新たなスポーツ人口の獲得を進めたいと考えている。



スポーツをしよう (スポーツ推進委員・ポッチャ)



令和5年秋季グラウンドゴルフ大会



令和5年テニスで遊ぼう